（様式３）

**無人航空機を飛行させる者に関する飛行経歴・知識・能力確認書**

　無人航空機を飛行させる者「○○　○○※」は、「無人航空機の飛行に関する許可・承認の審査要領」の４－２に掲げる飛行経歴・知識・能力を有していることを確認した。

|  |  |
| --- | --- |
| 確認事項 | 確認結果 |
| 飛行経歴 | 無人航空機の種類別に、10時間以上の飛行経歴を有すること。 | 適 / 否 |
| 知　識 | 航空法関係法令に関する知識を有すること。 | 適 / 否 |
| 安全飛行に関する知識を有すること。・飛行ルール（飛行の禁止空域、飛行の方法）・気象に関する知識・無人航空機の安全機能（フェールセーフ機能　等）・取扱説明書に記載された日常点検項目・自動操縦システムを装備している場合には、当該システムの構造及び取扱説明書に記載された日常点検項目 | 適 / 否 |
| 能　力 | 一般 | 飛行前に、次に掲げる確認が行えること。・周囲の安全確認（第三者の立入の有無、風速・風向等の気象　等）・燃料又はバッテリーの残量確認・通信系統及び推進系統の作動確認 | 適 / 否 |
| 遠隔操作の機体 | GPS等の機能を利用せず、安定した離陸及び着陸ができること。 | 適 / 否 / 該当せず |
| GPS等の機能を利用せず、安定した飛行ができること。・上昇・一定位置、高度を維持したホバリング（回転翼機）・ホバリング状態から機首の方向を90°回転（回転翼機）・前後移動・水平方向の飛行（左右移動又は左右旋回）・下降 | 適 / 否 / 該当せず |
| 自動操縦の機体 | 自動操縦システムにおいて、適切に飛行経路を設定できること。 | 適 / 否 / 該当せず |
| 飛行中に不具合が発生した際に、無人航空機を安全に着陸させられるよう、適切に操作介入ができること。 | 適 / 否 / 該当せず |

　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

飛行を監督する

責任者の所属・氏名　　　　　　　　　　　　　　　　印

※個人申請の場合には、飛行を監督する責任者の所属・氏名欄に署名するのみで差し支えない。

(注) 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。